

# ひかり

2017年10月号



日本聖公会 三光教会

第660号

〒142-0064 東京都品川区旗の台6-22-24

All Saints 諸聖徒日

電話 03(3781)2554

FAX 03(3781)2544

<http://nssk.org/tokyo/church/sanko/stephen/>

ヨハネが来て義の道を示したのに、あなたたちは彼を信ぜず、徴税人や娼婦たちは信じたからだ。あなたたちはそれを見ても、後で考え直して彼を信じようとしなかった。(マタイによる福音書 21:32)

## 創立 救主降誕1912年(大正元年)11月2日

### 三光教会のこれからに 望みを抱く

#### 司祭 グレース 神崎和子

秋も深まり、三光教会の庭の木々も色付き、落葉も多くなりました。事務棟の後ろに植えられている柿の木の実も色付き、秋の季節の深まりを一層感じます。

三光教会は11月の第2主日を創立記念日としています。三光教会の歴史をひも解いてみますと、1906年に先ず聖ステパノ教会と聖十字教会が合同して復活教会となりました。そしてその6年後、1912年に復活教会と喜望教会が合同し、「三光教会」となつたのです。三光教会は今年で、創立105年となります。

105年の長きに渡る歴史を持つ三光教会の歩んできた道のりを、今一度振り返り、学んでいきたいと思ひます。時には困難な時代の中にあつて、どのように信仰を繋げてきたのでしょうか。

三光教会は、成立当時から一つの教会として出発したわけではありません。1875年W・B・ライト師によって四谷笹筒町に講義所として開かれました。講義所は当

時、聖十字仮会堂と言われていました。そこから三光教会成立までに37年間の年月がありました。このあいだに創立過程の異なる3教会がそれぞれの歴史を持ちつつ合同を果たしていったのです。

105年後の三光教会が属する現在の東京教区を見てみますと、多くの困難な課題を抱えている現実が見えてきます。聖職者の減少、信徒の高齢化、少子化などです。これらの課題に対して一つのあり方として、あらたに東京教区をエリアに分けて考えていくという計画が発議され、具体化に向かって進んでいます。東京教区の教区組織は、教区事務所、宣教支援センター、主教座聖堂に再構築されていくことが提案されています。

正直に申しまして、まだ実感を持つて捉えにくい部分があります。具体的なビジョンが浮かんで来ない思ひがあるのかもしれない。しかしだからこそ一層の現状認識を共有し、一致して共に祈り進んで行こうとする覚悟が求められているのではないのでしょうか。

今後益々多くの課題を抱えつつ、それでも100有余年の間、先人の方々が積み上げて来た三光

### 10月～11月の予定

#### ◆10月

15日(日) 聖霊降臨後第19主日  
殉教者主教イグナシウス  
聖書に学ぶ会(新約)

17日(火) 福音記者聖ルカ日  
聖書に学ぶ会(旧約)

20日(金) 聖霊降臨後第20主日  
使徒聖シモン・使徒聖ユダ日

22日(日) 聖霊降臨後第21主日  
三光教会秋の大バザー

#### ◆11月

1日(水) 諸聖徒日  
2日(木) 諸魂日

3日(金) 聖書に学ぶ会(旧約)  
聖霊降臨後第22主日  
11月逝去者記念聖餐式

6日(月) 聖書に学ぶ会(新約)  
10日(金) 主教教会博士レオ  
11日(土) 主教マルチン

12日(日) 聖霊降臨後第23主日  
三光教会第105回創立記念日

14日(火) 聖書に学ぶ会(旧約)  
17日(金) 修院長ヒルダ

19日(日) 聖書に学ぶ会(旧約)  
聖霊降臨後第24主日

21日(火) 聖書に学ぶ会(新約)  
22日(水) 殉教者おとめセシリヤ  
23日(木) 殉教者主教ローマクレメント

26日(日) 降臨節前主日  
30日(木) 使徒聖アンデレ日

◆12月  
2日(土) 日本聖公会初代主教ウイリアムズ  
降臨節第1主日

3日(日) 降臨節第1主日

教会の伝統と礼拝を大切にしつつ、将来に望みを持って新たな道を皆さまと共に模索していきたいと存じます。

### 婦人会だより (9月)

9月17日 参加者19名  
婦人会后半に入り、来年度以降の活動を考える時期になりました。時代、環境の変化に伴いここ数年急激に例会の参加者数も減り、若い方達の参加が望めず、役員の引き受け手がいない、という難しい状況を迎えています。

(2)  
三光教会のみんなの連帯感を担う大切な組織として今後のあり方が問われています。現状を会員の皆様に書面でお伝えし、11月の例会時に皆で考えようということになりました。11月には皆様多数ご出席頂きたく、よろしくお願いいたします。

10月の婦人会はバザー準備のお手伝いに当て、お休みとなります。  
(記・加藤由喜子)

### 男子会だより (9月)

8月の男子会は、特別企画としてホットドックランチを提供することにしました。

ことの発端は、8月の愛餐会は毎回おにぎりでは飽きるな、子供達も楽しめる企画を考えようと、そうめん流し・バーベキューなどの案の中から、ホットドックに決定しました。20日(日)に100個、パンは小ぶりのサイズで2個300円と手ごろな値段設定、これならと張り切って準備。

当日はパン・ソーセージ・キャベツも残らず100個完売でした。お持ち帰りの方にはプラのケースにちょうど2個収まり喜ばれました。昔は愛餐会でホットドックを出していたとか懐かしい話が飛び交い、中には一つで十分と思っていたけど2個とも美味しく食べられたと報告があったり、普段の愛餐会とはひと味違った場面が続出。またの機会にぜひ提供したいですね。  
(記・頼 仰史)

### きついのぼい

ルソン島北部に、バギオへの道路建設のため、1900年代の

初頭、2500名ほどの日本人労働

者が渡り、難工事と重労働のため数百名の方が亡くなったものの、工事終了後、多くがこの地に残って、現地の女性と結婚したことに ついては、映画ちらしの中でも触れました。彼らは幸せな家庭を築いたのもつかの間、第二次世界大戦が勃発。戦後は敵国人として激しい憎悪と差別の対象になり、長い間日本の名前を隠し、山岳地帯で身を隠すように暮らしていました。そこに救いの手をさしのべたのがシスター海野です。

シスター海野は1911年生まれ。中国で社会事業に携わった後、1942年に日本で修道会に入りました。戦後は各地で幼稚園長を務め、1970年ローマ法王のフイリピン訪問に随行してマニラのスラム街で底辺の子供達を見て、フイリピンで第2の人生を送ることを決意したのです

1972年60歳で定年後マニラへ。多くの日本人がバギオへの道路建設に携わったことを聞き、敵国であった日本人の子孫はどうしているのかと疑問を持ったこと

から、3ヶ月間歩き回って一人の日系人を発見しました。日本人の多くは、戦争で軍属として死亡したり、疎開中に病気で死亡したり、生き残って捕虜となったものは日本に強制送還され、現地で虐殺された人もいて、日系の子孫は精神的・経済的に大きな痛手を受けただけでなく、フイリピン人、日本人双方からさげすまれていました。

シスターは、「戦争に対する責任を自分なりに取っていきたい」と、隠れていた日系人を一人一人捜し歩き、5年間で千人の日系人を捜し出しました。そして二世達が物質的な助けを求めず、子供達に教育を授けてほしいという願いを聞いて奨学金制度を作り、また何年にもわたって遺骨・遺品の収集を行ないました。さらに貧しい農民には助け合いと自立が必要と、1980年には農協を作り、日本人専門家の協力を得て、技術指導、インフラ整備なども行ないました。1986年には日比親善友好会館「アボン」を開設。1989年11月にはバギオへの道路を見渡せる展望台に友好の記念碑を建立。それを見届けた後、その年の12月31日に亡くなりました。

つらい体験をしてきた日系人に、「日本人もフィリピン人も同じような犠牲や悲しみを経験しました。戦争は終わりました。許し忘れなさい」と言い、「神様に与えられた命を全うするだけ」と晩年も治療をするよりは日比両国のために奔走したシスター。日本兵の慰霊碑を建てるのではなく、奨学金で人材を育て、「生きた記念碑を建てる」と表現したシスター。

私たちも日本とフィリピンの歴史に思いをはせ、少しでもお互いが学びあい祈り合う関係を大切にしていきたいと思えます

(記・安次嶺 佳子)

## 公 示

日本聖公会法規第138条の規定に従い、日本聖公会東京教区三光教会(臨時)堅信受領者総会を左記のように召集します。

救主降生2017年10月8日聖霊降臨後第18主日

日本聖公会東京教区 三光教会

牧師 司祭 グレース 神崎和子

## 記

日時 2017年11月19日(日)聖霊降臨後第24主日 第Ⅱ聖餐式後  
場所 三光教会聖堂  
議題 聖堂内にパイプオルガンを設置する件

※本臨時総会を欠席の場合は、議決の一切を議長に一任するものとさせていただきます。

### 教会のお掃除にご協力を

聖堂内外のお掃除の協力者が少なくなりました。土曜日の午前10時から1時間程ご奉仕ください。ご協力いただける方は直接参加してください。

### はじめて教会にいらした方へ

礼拝様式に馴れない方は椅子にお掛けになったままで結構です。  
●礼拝中の献金は、信施金として伝道のために献げられるものです。金額は自由です。  
●わからない点は隣の席の者か案内係にお聞きください。

### 礼拝のご案内

#### ■主日礼拝

午前 7:00 早祷・嘆願  
午前 7:30 聖餐式  
午前 9:00 ステパノ会  
(日曜学校)礼拝  
午前 10:30 聖餐式  
午後 4:00 夕の礼拝

#### ■平日礼拝

月曜日から土曜日までは、毎朝 6:30 の早祷に引き続いて聖餐式